

## 中央区を知る—船場—

北はかつての大川・土佐堀川、南は長堀（現在は長堀通）、東は東横堀、西は西横堀に囲まれた地域を指す総称です。本町通を境として北を北船場、南を南船場といいます。当地域が天下の台所の中心として繁栄したのは、大坂夏の陣以降のことと考えられます。地名の起源については、船着場であるからという説、古来の戦場の転化であるという説など諸説あります。江戸期には、北浜・今橋通り界隈に両替商・呉服屋、道修町に薬問屋、伏見町には唐物問屋、備後町・安土町には木綿太物問屋が多くありました。1970（昭和 45）年に船場を東西に貫く中央大通りが完成し、その中央を走る阪神高速道路の高架下に船場センタービルが設けられ、問屋街の近代化が図られました。

『船場（風土記大阪 第1集）』宮本又次著 ミネルヴァ書房 1960

\*ID 0000244954

『定本船場ものがたり』香村菊雄著 創元社 1986

\*ID 0000164020

『船場道修町-葉・商い・学の町』三島佑一著 人文書院 1990

\*ID 0000221397

『わが町船場-いま・むかし』大阪市立開平小学校編著 大阪市立開平小学校 1994

\*ID 0000485678

『大阪春秋 150号』新風書房 2013

\*ID 0012716720

この調べかたガイドでは、中央区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID 大阪市立図書館の「書誌ID」（お問い合わせの際にお伝えください）

島之内図書館に所蔵しているものは、IDの前に\*をつけて表示しています。（\*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。）

小学生から読めるものはID番号の後に👤 オムリンマークをつけています。

WEB 大阪市立図書館のホームページ

[VHS][DVD]はビデオテープ、DVDなど視聴覚資料です。

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。

より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド：各区版

## 中央区の調べかた

中央区の史跡・名勝・建築—大阪城—

中央区の人物・伝説—緒方洪庵—

中央区の文化施設—大阪歴史博物館—

中央区を知る—船場—



中央区マスコットキャラクター  
ゆめまるくん



パンジー



うめ

中央区の花

### 大阪市立島之内図書館

〒542-0082 大阪市中央区島之内2-12-31

TEL 06-6211-3645

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日（第3木曜日は休館）

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日（祝・休日は開館）

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

## 中央区の調べかた

Ver. 2 2014. 8改訂

## 中央区の史跡・名勝・建築—大阪城—

1583(天正11)年に豊臣秀吉が築城を開始したのが、最初の大坂城で、現在の大坂城より大きな規模の城でした。1615(慶長20)年大坂夏の陣での落城後は徳川家の管轄となり、1620(元和6)年から再建が始められましたが、秀吉の大坂城より規模は小さくなりました。1665(寛文5)年の落雷以後約270年間、天守閣は存在していませんでしたが、1931年(昭和6)年市民からの寄付金を復興費として再建されました。

『天下統一の城・大坂城』中村博司著 新泉社 2008

\*ID 0011584093

『大坂城 -天下人二人の武略燦然-』学研 1994

\*ID 0000404368

『大坂城』岡本良一編集執筆 清文堂出版 1983

\*ID 0000164394

『大坂城 天下一の名城』宮上茂隆著 草思社 1984

\*ID 0000190090

『大坂城物語』岡本良一著 ポプラ社 1978

\*ID 0070006647

[VHS]『大坂城 平成の大改修 築城の歴史とその変遷』映画“中之島”制作グループ企画・制作 1999

\*ID 7000039482

『大阪城天守閣ホームページ』

<http://www.osakacastle.net/>

WEB「大阪市立図書館ホームページ」→「おおさか資料室」→

「大阪に関するよくある質問」→「中央区」『こどもむけに書かれた大阪城の本はありますか』



大阪城の展望（「大阪・東京名所絵葉書」より）

WEB「大阪市立図書館ホームページ」→「デジタルアーカイブ」

→「簡易検索」→『大阪城の展望』で検索

## 中央区の人物・伝説—緒方洪庵—

緒方洪庵は1810(文化7)年に備中、足守藩の家臣の家に生まれました。大坂、江戸、長崎で蘭方医学を学び、1836(天保7)年大坂の瓦町に蘭学塾「適々齋塾」を開きました。一般には「適塾」と呼ばれています。この塾は、大村益次郎、福澤諭吉らを輩出しました。また、洪庵は天然痘の予防のため、多くの医師とともに1849(嘉永2)年古手町(現在の道修町4丁目)に私立の種痘所「除痘館」を設立しました。1860(万延元)年には現在の今橋3丁目に場所を移し、全国に種痘ワクチンを送りました。後に幕府の奥医師兼西洋医学所頭取となりましたが、1863(文久3)年に急死しました。

『緒方洪庵と適塾』梅溪 昇著 大阪大学出版会 1996

\*ID 0000580083

『緒方洪庵と大阪の除痘館』古西義磨著 東方出版 2002

\*ID 0010425253

『洪庵のくすり箱』米田該典著 大阪大学出版会 2001

\*ID 0000852282

『洪庵のたいまつ 二十一世紀に生きる君たちへ』司馬遼太郎著 大阪大学・適塾記念会 1998

ID 0000728348

『大阪春秋 139号』新風書房 2010

\*ID 0012108812

## 中央区の文化施設—大阪歴史博物館—

大阪城の西、大手前4丁目に建っている高層の建物が大阪歴史博物館です。大阪市設置の施設として、2001(平成13)年に開館しました。「なにわ歴博」という愛称でも親しまれています。10階から7階までの展示室での常設展のほか、6階の特別室展示室での特別展の開催や公開講座、イベントを通じて、歴史や文化の情報を発信しています。博物館の敷地は、発掘調査で飛鳥時代の難波宮の「倉庫跡」や「水利施設」などの遺構が見つかった所で、一部は地下で掘り出したままの状態で見学されています。この遺構は1階や地下フロアから見学することができます。博物館には、大阪の歴史と文化を中心に、広く歴史に関する情報を集めた学習情報センター「なにわ歴史塾」があります。所蔵されている図書や映像の閲覧や、学芸員による学習相談が気軽にできる施設です。

『中央区史跡文化事典』大阪府中央区役所 2010

\*ID 0012197943

『わたしたちの大阪歴史博物館』大阪市小学校教育研究社会部編集執筆 大阪歴史博物館 2003

\*ID 0010628713

『大阪歴史博物館ホームページ』

<http://www.mus-his.city.osaka.jp/>